



愛知県の
産地の現状

🌿国の目標では、有機農業の取組面積を2050年までに25%に拡大することとなっている。
一方、県内の有機水田面積は100ha前後(0.3%程度)で推移し、増加していない。



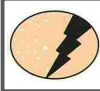
農総試での
関連研究成果

🌿環境に配慮した生産工程に関する表示である「環境アイコン」に関する、消費者の意識や波及効果について検討してきた。



解決したい
困りごと

🌿有機栽培等の「環境に配慮した米」は、消費者にとって安全であるという認識は高いが、環境保全に貢献しているという認識が低く付加価値に対する評価が十分ではない。
そのため、環境保全に貢献するというストーリーの構築と社会における価値観の共有が重要であるが、生産者にとってPR方法を構築するのは難しい。



解決案

🌿環境に配慮した生産工程であるのことのPR用アプリケーション開発

定点観測カメラ、ウェアラブルカメラ、ドローン等を用いて、農業者の栽培に対するこだわり、生産物の生育状況、周辺の豊かな自然環境等について発信するために、画像・映像の自動取得、撮影のポイントやコツの利用者への提案、映像コンテンツの自動作成が可能なアプリを開発する。

これにより、生産者が「環境に配慮した米」のブランド化を効果的・省力的に進めることができる。

担当者：研究戦略部・技術開発研究室・山本るみ子